

# 平成26年度 決算概要

## 一般会計決算

歳入 **40億8,456万円**

歳出 **38億8,625万円**

前年度比 4.6%増(1億8,068万円増)

前年度比 6.7%増(2億4,334万円増)

### 特別会計・企業会計決算

会計区分	歳入	前年度比	歳出	前年度比
国民健康保険事業特別会計	141,210	6,572	133,378	3,168
国民健康保険診療所事業特別会計	6,320	△1,180	5,999	△1,079
上水道事業会計	15,009	△40	14,215	△273
寄簡易水道事業特別会計	4,177	1,182	4,146	1,211
下水道事業特別会計	35,198	49	33,266	△854
介護保険事業特別会計	89,933	7,480	86,232	4,565
用地取得特別会計	8,979	8,332	655	19
後期高齢者医療特別会計	15,711	804	15,268	825
合計	316,537	23,197	293,158	7,583

※1万円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(単位:万円)

平成26年度の松田町一般会計、特別会計、公営企業会計の決算について、町議会第3回定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

予算・決算とは？

〔予算〕1年間の町の財政計画であると同時に諸政策を定めるもので、毎年広報まつだ4月号でお知らせしています。

〔決算〕実際にお金がいくら入り(歳入)、何に使ったのか(歳出)をまとめたものです。

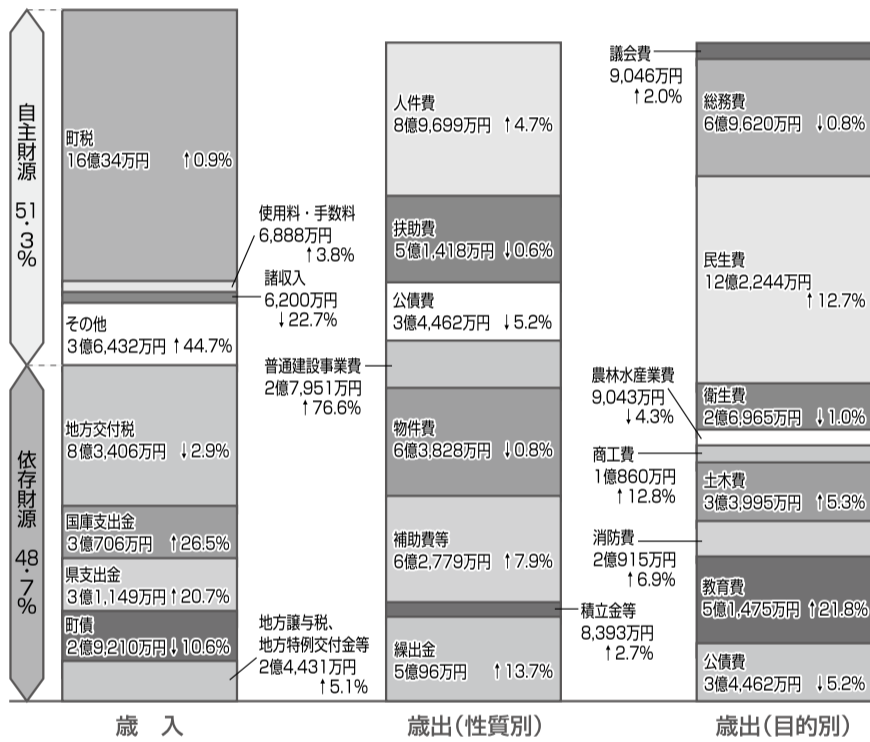
〔問い合わせ〕政策推進課 財政係 ☎(83)1222

### 一般会計決算の概要

一般会計の歳入総額は前年度比4.6%増(1億8,068万円)の40億8,456万円、歳出総額は前年度比6.7%増(2億4,334万円)の38億8,625万円となり、歳入歳出差引額は1億9,831万円となりました。歳入、歳出の内訳は、左のグラフの通りです。

#### 〔歳入・歳出の特徴〕

歳入では、決算総額の39.1%を占める町税が、前年度より増加しました。これは、退職所得の減少などにより個人町民税が減少したものの、企業収益の改善により法人町民税が増加したことなどによるものです。また、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金のための補助金が交付されたことなどにより、国庫支出



○ ↑ ↓は前年度対比を表しています。  
 ○ 金額は1万円未満を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。  
 ○ 性質別決算とは、支出を経済的性質によって分類したものです。また、目的別決算とは、支出を行政目的によって分類したものです。

### 特別会計・企業会計 決算の概要

町では、一般会計の他に7つの特別会計と1つの公営企業会計を設けて事業を行っています。それぞれの会計の決算と事業の概要は、次のとおりです。

#### 国民健康保険事業特別会計

自営業の方や会社を退職した方などのための国民健康保険を運営しています。平成26年度決算の内訳では、保険税が全体の22.5%余りを占め、その他を国庫支出金や一般会計からの繰入金で賄っています。

被保険者が保険税を納期内に納めていただくこと、そして一人一人が自分の健康と医療費に関心をもち、医療費の節減に努めることにより、健全な国民健康保険制度を運営することができま

被保険者一人あたり、  
**医療費は 33万5,930円**  
**保険税は 9万6,827円**

町の国民健康保険被保険者が病気をしたときにかかった平成26年度医療費の総額は11億4,200万円となり、前年度に比べ2.5%増となりました。被保険者1人当たり換算すると33万5,930円となり、前年度に比べ6.5%の増となりました。

#### 国民健康保険診療所事業特別会計

平成26年度の寄診療所では、234日間で述べ6,700人を診療しました。その内、後期高齢者医療被保険者が43%を占めています。

診療収入が主な収入となる歳入決算は、前年度比15.7%減となり、また、医薬品代などが主な支出となる歳出決算は、前年度比15.2%の減となりました。

#### 上水道事業会計

収益的収支 ※1  
 収入 1億1,931万円  
 支出 1億1,137万円  
 資本的収支 ※2  
 収入 0円  
 支出 3,078万円

9,240人の住民(給水人口)に対し良質な水を安定的に供給するため、水道施設の更新、維持管理を行いました。

平成26年度の給水収益(水道使用料)は前年度比2.3%減となり、営業収益は前年度比2.7%減となりました。加入負担金の減を主な要因として営業外収益も減となり、水道事業収益は前年度比4.1%減となりました。

支出については、引き続きコストの縮減・合理化に努め、前年度比6.2%減となり、当年度経常利益17.9万を計上するに至りました。

平成26年度決算での経常費用から求めた給水原価は、1mあたり97.2円で、水を給水したときの収入額から算出した供給単価は、1mあたり84.2円になりました。

※1 水道料金などを主な収入とし、支出は動力費、機械や建物などの減価償却費、職員の人件費、企業債の利子支払いなどです。  
 ※2 平成26年度は収入がなく、支出は建設改良費や企業債の元金償還などです。収支の不足額は、全額損益勘定留保資金などで補っています。

#### 寄簡易水道事業特別会計

寄地区(湯の沢を除く)に対し良質な水を安定的に供給するため、水道施設の更新、維持管理を行いました。

配水管の敷設替工事やポンプ更新工事を行い、そのための借入を行ったため、歳入、歳出とも前年度より増加しました。

平成26年度決算での経常費用から求めた給水原価は、1mあたり129.9円で、水を供給したときの収入額から算出した供給単価は、1mあたり87.4円になりました。